

2021年12月18日

近畿本部 経営工学部会 2021年12月度定例会および研修会議事録

日時 2021年12月18日(土) 14:30~16:30

場所 ZOOMを使用したWEB開催

出席者 31名

配布資料 ①研修会議事進行表、②経営工学部会出席者名簿

③研修会資料、④WEB参加でのお願い・連絡事項、⑤CPD行事参加票

司会進行 担当幹事 古橋技術士、田代技術士


1. 開会挨拶(荒井会長)

- (1) 現在、日本でのコロナ感染者は低水準だが、諸外国での状況やオミクロン株の流行をみると、特に年末を控え、楽観視できない状況です。
今回は、久しぶりのハイブリット開催を目論んだが前述のような状況を鑑みて、今回もWEB開催とした。
- (2) 去る11月26日に技術士全国大会が開催され、経営工学部会の合同専門部会も開催され、統括本部と地域本部とのすみ分けについて、地域ならではの(例えば聴講だけではなくディスカッションができるような研修会等)の研鑽方法などの意見交換を行った。
- (3) 本日の北川技術士の講演はディスカッションを取り入れた研修会であり、今後を模索する取り組みにふさわしいコンテンツなので、積極的な意見交換の場としたい。
- (4) 幹事会で来年度からの運営について議論している。新たな企画を4月度例会から盛り込みたいので、今後も引き続きご参加をお願いしたい。

2. 初参加者紹介 山本和人技術士 (パナソニック株式会社)

3. 研修会

- ・演題: 「課題解決と見える化ツール」
- ・講師: 北川 昭浩 技術士(経営工学部門) 扶桑化学工業株式会社
- ・概要: 課題の設定や解決にあたる中で、様々な情報のツールを使っておられると思います。今回は講師が紹介するツールの事例を呼び水にして、参加者皆様の実践からのご意見をたくさん伺うことで、これからは役立つ情報の共有の場にしたいと思っています。(QC7つ道具から、デジタル・ビジュアライゼーションまで)

 <p>課題解決と見える化ツール</p> <p>公益社団法人 日本技術士会 近畿本部 経営工学部会 研修会 2021/12/18 北川昭浩</p>	<p>皆様のお考え・ご経験をお話しいただききっかけに</p> <p>課題の設定や解決にあたる中で、様々な情報のツールを使っておられると思います。今回は、講師が紹介するツールの事例を呼び水にして、参加者皆様の実践からのご意見をたくさん伺うことで、これからは役立つ情報の共有の場にしたいと思っています。(QC7つ道具から、デジタル・ビジュアライゼーションまで)</p> <table border="1"><tr><td>前半プレゼン: 20分</td></tr><tr><td>問題設定と問題解決、思考プロセスを描く QC的問題解決、TOC、ケブナトリゴ</td></tr><tr><td>討議: 10分</td></tr><tr><td>後半プレゼン: 20分</td></tr><tr><td>データビジュアライゼーション、デザイン思考...</td></tr><tr><td>討議: 20分</td></tr></table>	前半プレゼン: 20分	問題設定と問題解決、思考プロセスを描く QC的問題解決、TOC、ケブナトリゴ	討議: 10分	後半プレゼン: 20分	データビジュアライゼーション、デザイン思考...	討議: 20分
前半プレゼン: 20分							
問題設定と問題解決、思考プロセスを描く QC的問題解決、TOC、ケブナトリゴ							
討議: 10分							
後半プレゼン: 20分							
データビジュアライゼーション、デザイン思考...							
討議: 20分							

・質疑応答:

〈前半:問題設定と問題解決・思考プロセスについて〉

- Q) 問題解決の目標設定について。QC サークル・カイゼン・業務改革など、各取り組みレベルでどのように考えればよいだろうか。
- A) レベルやテーマでさまざまな方法はあると思われるが、共通するのは設定時に「なぜその目標なのか」理由づけが大切と意識している。「問題をすべて解決できる」のがベストだが、必ずしもそうならない場合、理由づけしておけば次のステップに進むときに振り返ることが可能。
- A) 目的と手段を明らかにすることが大切。またチームで問題の構造を整理し、階層化することで機能展開を行うことで活動実施へ導きやすくなる。その際、前提条件や活動環境を反映し、全体統合しておくことが肝要。
- A) QC 活動での目標設定は取り組む組織のレベルを考慮する必要がある。目標を段階的に設定し、体験を積み重ね活性化させる手法もある。
- A) QC ストーリーは生産部門の基本とされているが、研究開発部門でも有効だと実感しており、どのような部門でも仕事の基本になりうる。

〈後半:データビジュアライゼーション、デザイン思考について〉

- Q) 「人の気持ち(やる気のような)」に係る数値化しにくいデータのサンプリング方法はあるのだろうか。
- A) 例えば、発言内容をテキスト化(デジタル化)し分析することで定性的な事柄の相関関係が見えてくる手法がある。KH-Corderでのテキストマイニングは一般的。
- A) 言葉以上に表面に出ない、例えば「表情」などのデータは難しいので、現場での雰囲気向上や発言しやすい場づくりが重要になる。
- A) ビジュアル的に表現する際、その裏にある表面化しにくいデータが重要だった場合、結果をミスリードする恐れがあり注意しなければならない。かの英首相ベンジャミンディズレーリの名言にも”There are three kinds of lies: lies, damned lies, and statistics.”とあり、作成者の意図を理解することは経営工学の技術士にとって必要な力(データリテラシーの向上)である。

[定例会会]

4. 部会活動報告及び諸連絡事項など

- ①日韓技術士国際交流会議(仙台にて)10月30日(土)~31日(日)
- ②第47回技術士全国大会(東京)11月25日(木)~27日(土)
(全国大会・経営工学部会合同専門部会11月26日)
- ③技術士一次試験11月28日(日)
- ④「大阪勧業展2021」への出展
- ⑤今後の部会運営について

5. 今後の予定

〈近畿本部の主な活動予定〉

- ① 第15回災害対策セミナー(神戸国際会館)1月16日(日)
- ② 近畿本部新春講演会(アクセア本町+WEB) (近畿本部)1月22日(土)
- ③ 協賛団体向け特別セミナー2月2日(水)

④ 第41回地域産学官合同セミナー(大阪科学技術センター+WEB)2月5日(土)

⑤ 近畿本部倫理シンポジウム2022(大阪科学技術センター+WEB)2月26日(土)

<近畿本部経営工学部会>

・2月度部会+研修会 2月19日(土) 研修会講師 田村 豊 技術士(経営工学部会)

・4月度からの運営方法検討中

6. 自由発言、その他 (特になし)

7. 閉会挨拶(担当幹事 田代)

今年もリモートによる開催は残念だったが通年予定通り開催できた。近年「パーパス経営」が注目され、企業の考え方も変化しており、現場から経営まで幅広く活用可能な講演テーマであった。一方、デザイン思考での「ワイガヤ」から生み出される新たな知の可能性についても、今後経営工学分野での広がりにつながるだろう。幹事会では来年度の新たな部会運営を検討しており、今後もご参加いただきたい。

以上

(文責:田代芳樹)